

第 104 回紫友まち歩き

京都・比叡山巡り

～「光る君」と横川の僧都を巡る旅～

～12 月初！紅葉を求めあちこちへ～

今回は、9 月に中止となった京都まち歩きの再チャレンジでしたが、暖冬のためか紅葉が遅れて、好天・見頃の中実施されました。

日時：2024 年 12 月 1 日(日)から 3 日(火)

集合時間・場所：12 月 1 日 9 時 40 分、
京都駅新幹線八条口

参加者：13 名参加

案内人：梅島雅夫 018

宿泊：東急ステイ京都三条烏丸 2 泊
懇親会の会場と参加者：

1 日(日) やきとり「鳥あさ」、13 名

2 日(月) がんこ高瀬川二条苑、13 名

歩いた歩数：小林の歩数計概算

1 日(日) 20,000 歩弱

2 日(月) 24,500 歩

3 日(火) 20,000 歩弱

<まち歩き>:

■まち歩き行程

12 月 1 日(日)：宇治平等院ほか源氏物語を辿る

京都駅新幹線八条口→宇治駅→夢浮橋広場、紫式部像→平等院その 1(「鳳凰堂内」15:30 見学予約)→宇治川を渡り興聖寺(こうしょうじ)→宇治神社→宇治上神社→宇治市源氏物語ミュージアム→宇治橋を渡り、再度平等院庭園とミュージアム鳳翔館見学

→鳳凰堂内見学→京都駅で荷物回収後、懇親会場へ→ホテルへ

12 月 2 日(月)：坂本方面 比叡山に最澄の足跡を辿る

ホテル集合→坂本比叡山口→滋賀院門跡→山王総本宮日吉大社→比叡山坂本ケーブル→比叡山延暦寺根本中堂前広場→シャトルで横川地域へ→横川中堂→四季講堂(元三大師堂)→東塔地域に戻り根本中堂→比叡山頂へシャトルで→叡山ロープウェイ→叡山ケーブル→八瀬駅からがんこ高瀬川二条苑へ、懇親会

12 月 3 日(火)：今年の干支・辰年に縁のある寺社を巡る、縁切り神社なども

ホテル集合、集合写真→東福寺臥雲橋→本堂、国宝三門→光明院→勝林寺→バスで瀧尾神社→安井金比羅宮→崇徳天皇御廟→六道の辻の碑(六道珍皇寺)→遅い昼食(力餅 北垣商店)→バスで菊野大明神→ホテルで荷物回収→京都駅へ、解散

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

12 月 1 日(日)：宇治平等院ほか源氏物語を辿る

① 京都駅新幹線八条口→宇治駅：

荷物をコインロッカーに預ける。先着二人が 3 個のロッカーを確保。奈良線で宇治へ向かう。宇治駅で梅島案内人が、見学概要説明とお昼のおにぎりを各人に配る。



② 夢浮橋広場、紫式部像：

参道入り口の宇治川沿いに源氏物語「宇治十帖」の最後夢の浮橋の説明板や紫式部像が有り、写真に撮る。



参考まで、宇治十帖は、源氏物語の最後の10帖で、橋姫、椎本、総角、早蕨、宿木、東屋、浮舟、蜻蛉、手習、夢の浮橋から構成されている。

③ 平等院その1（「鳳凰堂内」15:30 見学予約）：

入場チケットを購入し、まず案内人が

鳳凰堂内見学の15:30予約券を確保。



宇治茶のソフトクリームがおいしい。

④ 宇治川を渡り興聖寺（こうしょうじ）：

宇治川の写真を撮りながら、対岸まで行く。宇治川の流れるは水量たっぷり。



興正寺の参道は「琴坂」と称し、紅葉がきれい。写真を撮りながら登っていく。



庭と外観を見学する。

宇治川沿いでお昼のおにぎりを楽しむ。



⑤ 宇治神社：

少し先の宇治川沿いに宇治神社の鳥居がある。階段を上ると知恵の輪が有り、くぐる人もいる。



願掛け兎さん巡りという説明があり、3つの兎の置物を探す（探せた）。宇治上神社に向け早蕨（さわらび）の道を進むと、早蕨の説明板を見つける。



⑥ 宇治上神社：

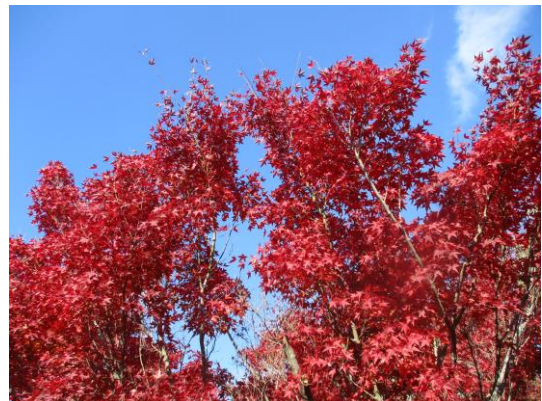
拝殿は寝殿造風の建物で国宝。本殿は神社建築では日本最古といわれ国宝。

⑦ 宇治市源氏物語ミュージアム：

少し歩くと総角（あげまき）の説明板が有り、その先が源氏物語ミュージアム。



入り口周辺の紅葉がきれいで多くの人が写真を撮っている。



各自それぞれ見学。見学せずにお茶の人もいました。

⑧ 宇治橋を渡り、再度平等院庭園とミュージアム鳳翔館見学：

途中、椎本（しいがもと）と東屋（あずまや）の説明板があった。写真省略。宇治橋からは名物の鵜の何匹かが黒い翼を広げたり、潜ったりしているのが見えた。

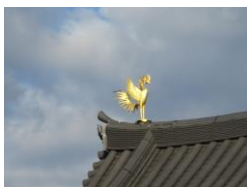


紅葉がきれいな平等院庭園で写真を撮って、鳳翔館を見学する。



初代の鳳凰の1対や雲中供養菩薩26軀を見学。鳳凰堂内の壁画の再現したものも飾られていた。

鳳凰堂内見学に向けて歩いて行くが、夕方の陽で屋根の上の2代目鳳凰が金色に輝く。



⑧ 鳳凰堂内見学：

15:20 から並んで入場を待つ。係の人からは壁を含め建物には一切触らないことを強く言われる。写真禁止。

平安時代の建立時より約1,000年の時を経た、歴史を持つ空間には仏師定朝作の国宝阿弥陀如来座像があり、その像を見ながら係の話聞く。堂内の南北の壁には高さ50センチほどの雲中供養菩薩像が取り付けられている。壁画は黒いだけで何が描かれているか全く分からなかった。額にある水晶製の白毫（びやくごう）は黒いだけだったが、係の人が言ったとおりの部屋を出ると見ると、水晶の輝きで白い感じに見えた。

集合場所からの平等院は光りの中できれいな写真に撮れた。



⑩ 京都駅で荷物回収後、懇親会場、ホテルへ：

本日の全ての見学が終了し、京都駅で荷物回収後、懇親会場やきとり「鳥あさ」に行く。荷物を預け懇親開始。



飲まない人が4名いたので飲み放題をやめたが大失敗。飲む人たちだけでかなり飲んでしまったので、飲み放題で良かったと反省。ホテルに帰る。6名はコンビニで購入した酒とつまみで11時頃まで懇親。

12月2日（月）：坂本方面 比叡山に最澄の足跡を辿る

① ホテル集合、坂本比叡山口：

各自、朝食を取る。ホテルのおぼんざい料理を楽しむ人が多い。

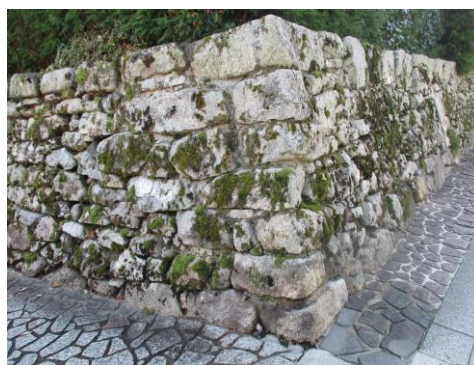


案内人が8:30頃ホテルに迎えに来てくれた。お昼の用意をした方が良くという。電車で坂本比叡山口に行く。10分ほどでバスが来るが、一駅だけで先に見えるところということで、歩き始める。しかし、どこまでもの登り坂であった。



② 滋賀院門跡：

きれいな紅葉を楽しみ、さらに穴太衆（あのうしゅう）積みの石積みを見ながら途中左に折れて、滋賀院門跡に行く。



時間もないので中に入ることなく外観だけ見学。

③ 山王総本宮日吉大社：

全国に約3,800社ある日吉・日枝・山王神社の総本社。来年の干支の蛇を描いている。



ここの参道の紅葉もきれいだ。山門の鳥居には、山の飾り（比叡山）が乗っていると案内人が説明してくれた。



猿が神使で神猿（まさる）＜魔去る、勝る＞と言われている。楼門には3匹の猿がいるというので、探し見つけることができた。



国宝の西本宮を見学。



東本宮は省略し、途中で戻る。案内人が鬼門について説明してくれる。

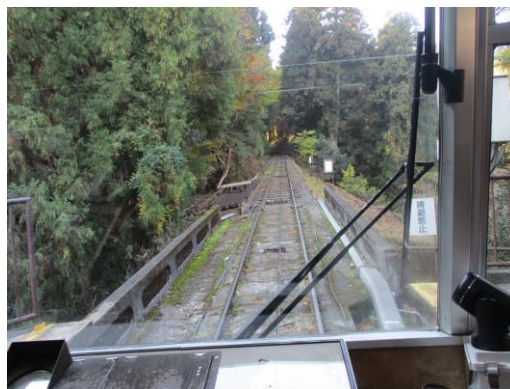


④ 比叡山坂本ケーブル :

さらに 10 分近く歩くと比叡山坂本ケーブル駅に着く。登録有形文化財の駅舎と日本最長の 2,025m を 11 分で結ぶ比叡山鉄道のケーブルカー路線。

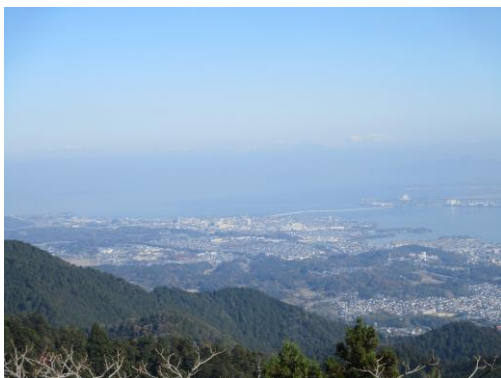


ケーブルカーの先頭に位置取り、一本のケーブルで巻き上げて登っていくのをジーとみている。紅葉している木がなくて残念。



山頂駅からの琵琶湖と琵琶湖大橋の

眺望は素晴らしい。



しかし、山頂駅から比叡山入り口までさらに坂を登って行かなければいけない。残念ながら、ここで体調が悪くなった人がバスで山頂駅経由ホテルに戻り、懇親会での再会となった。



⑤ 比叡山延暦寺根本中堂前広場：

そろそろ昼食なので、休憩所などでそれぞれ持参のお昼を食べる。

⑥ シャトルで横川地域へ、横川中堂：

昼食後、まず横川地域の見学をするため、バス停に向かってまた坂を登っていく。5分ちょっとでバス停に着き、横川行きのバスに乗る。一時間ほど横川地域見学。横川中堂は、横川の中心となる建物で、慈覚大師（円仁）が創建した。横川中堂を見上げながら最後の坂を登る。中堂に入り、一周見学。



⑦ 四季講堂(元三大師堂)：

さらに奥に向かって山道を登っていく。比叡山中興の祖・元三慈恵大師の住居跡で、四季ごとに法華経が論議されたことから四季講堂とも呼ばれる。



元三大師が考案したと言われる「おみくじ」発祥の地としても知られている。角大師（つのだいし）の護符は厄除け・魔除けの護符となっている。面白いキャラクター図を写真に撮る。



⑧ 東塔地域に戻り根本中堂：

シャトルバスで東塔地域に戻り、5分ほど歩いて修理中の根本中堂に入っていく。靴を脱ぎ内陣に入って「不滅の法灯」を探す。3つの法灯が見える（写真禁止）。天台宗開祖の最澄が薬師如来像を祀った際に灯したとされる灯明で、1,200年以上にわたって燃え続けている。ここで案内人が、「この不滅の法灯は、織田信長の叡山焼き討ちで消えてしまったのだが、以前山形の立石寺が再建された際に分灯した灯から再分灯されたものだ」と説明。中堂の説明係も一緒になってさらに説明が続いた。

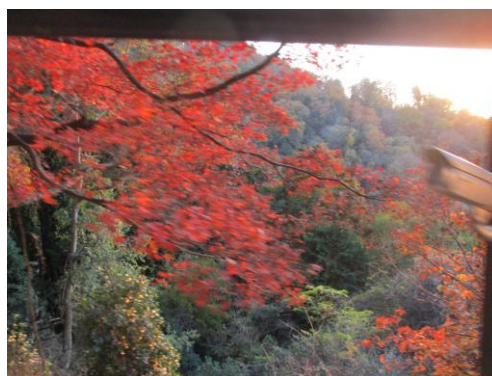
次は、工事中の屋根の見学。根本中堂の屋根の高さまで登って行けて、銅板葺を眺めることができた。瓦は重いから銅板葺が採用されたのかと話す。



西塔地域の見学は省略し、これで比叡山延暦寺の見学は終了。

⑨ 比叡山頂へシャトル、叡山ロープウェイ、叡山ケーブルで八瀬駅：

比叡山頂バス停が一番高いところかと思ったが、さらに坂を登らなければならなかった。叡山ロープウェイと叡山ケーブルを乗り継いで、八瀬駅に向かう。叡山ケーブルの車窓から、紅葉のそばを下っていくので、お客は写真撮影で忙しい。



さらに、八瀬紅葉の小径の紅葉は本当に素晴らしかった。



⑩ 八瀬からがんこ高瀬川二条苑へ、懇親会：

出町柳駅経由で高瀬川そばのがんこ高瀬川二条苑へ向かう。本日は良く歩きました。途中別れた二人とも再会。

30分ほどの後れで、6時から2時間の今回は飲み放題で懇親を楽しむ。



昨夜の懇親に比べると料金も高いせいかおいしいとの評判でした。



隣の部屋は外人の集まりで、芸者を呼んで楽しんでいた。隣の音楽を楽しむ。ホテルに戻る。昨夜同様の懇親を楽しみにしていたが、何故か一名がいつまで経っても戻ってこない。どうしたのかと騒いでいる内に12時になったので、散会した。一部の人には遅い時間の電話で迷惑をかけました。(問題は起きませんでした。)

12月3日(火)：今年の干支・辰年に縁のある寺社を巡る、縁切り神社なども

① ホテル集合、集合写真：

本日も8時30頃から集合が始まる。歩き疲れた二人が本日のまち歩きには参加しないということなので、全員集合後にホテルの前で集合写真を撮る。



② 東福寺臥雲橋：

本日は、地下鉄・バス一日券で移動。最初は、東福寺に向かう。本日も素晴らしい紅葉に迎えられる。案内人は、通天橋は大混雑なので行かない。臥雲橋を楽しんでと言う。臥雲橋では紅葉の先に満員の通天橋を眺め、写真に撮る。



③ 東福寺本堂、国宝三門：

東福寺の寺名は、奈良の東大寺、興福寺の二大寺から1字ずつ取って「東福寺」としたと案内人が説明する。東福

寺本堂の隙間から天井を見ると龍が見える。写真に撮る。



国宝三門を池越しに写真を撮る。



次に向かう。

④ 光明院：

案内人はここまで来る人は少ないと
いていたが、我々と同じに探してく
る人たちがいた。波心庭という枯山水
の石庭が紅葉とあいまって一幅の絵
となっている。

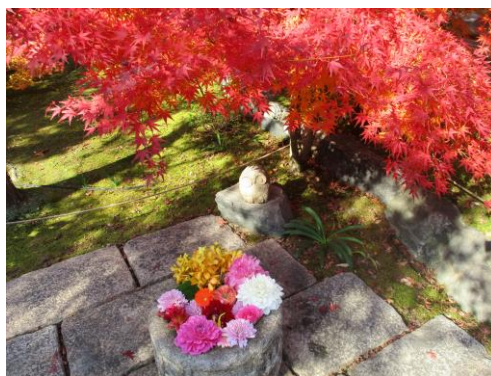


しばし見学。龍の絵などもあった。



⑤ 勝林寺：

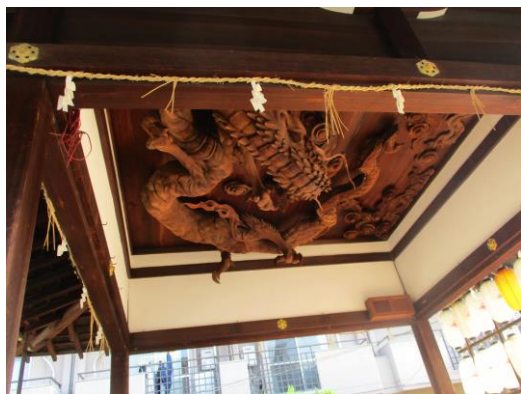
少し戻って、勝林寺に行く。ここには
豪華な花手水や紅葉のそばにひっそ
り置かれた花手水が人気のようだ。



⑥ バスで瀧尾神社：

瀧尾神社こそほとんどの人が見学に
来ない場所だ。案内人は、建物の中
に入らなければ無料なので、一回りしな
がら建物の天井の木彫りの龍を見上

げて楽しんでと言う。当然写真に撮る。



⑦ 安井金比羅宮：

次は、悪縁を切り良縁を結ぶ祈願所の安井金比羅宮。高さ1.5メートル、幅3メートルの絵馬の形をした巨石「縁切り縁結び碑（いし）」があり、100円で「形代（かたしろ）」と呼ばれる身代わりのお札に願いごとを書く。こちらからくぐって「縁を切って」から、向こうからくぐって「良縁を結ぶ」。その後、巨石に糊で形代を貼れば良いと案内人。仲間の一人がチャレンジ。



⑧ 崇徳天皇御廟：

すぐそばの崇徳天皇御廟の前で案内人が説明。保元の乱（1,156）に敗れた崇徳天皇（第75代）は、悲運にあ

われ、憤怒のまま、長寛2年（1,164）46歳でなくなる。白峯神宮に祀られている。



その白峯神宮は、和歌や蹴鞠の宗家として知られる公卿「飛鳥井家」の邸宅地跡に、慶応4年（明治元年）9月6日建立された。その蹴球奉納からバレー、バスケ、ラグビーなどボール競技の球技上達のご利益がある場所になっている。

⑨ 六道の辻の碑（六道珍皇寺）：

やはり地獄も見学と六道の辻の碑の見学に行き、無料で見られる閻魔様や小野篁の飾り像をガラス障子越しにのぞき込む。



⑩ 遅い昼食（力餅 北垣商店）後、バスで菊野大明神：

お腹がすいた人も多くなり、昼食場所に案内人が行くと、なんと本日定休日。近くを探すがものすごく高い。案内人は交番にも行き、お昼が食べられる場所を聞く。結果、少し遠くであるが、力餅 北垣商店というレストランに入る。やっと昼食に預かれた。



良かったことは芸者が時々来る場所のようで、二人の芸者さんがお茶をしていた。

昼食後、最後の菊野大明神に移動。案内人曰く、菊野大明神は知る人ぞ知る京都最強の縁切りスポットだという。



なかなか入り口が分からないところに有り、訪れる人も少ない。今回は我々だけ。病気から縁を切りたいという願いが叶えてもらえるか。

これで京都のまち歩きの全てが終了。ホテルで荷物回収し、京都駅へ。新幹線口の 551 で豚まんを買って解散し、新幹線の人になりました。



お疲れさまでした。

以上